

荒木 栞里

本校のホームページから

【11月26日】『深々としたおじぎ ～ 止まってくださった車に ～』

本日16時過ぎに、また、また、また、うれしいお電話がありました。
城址公園のところを車で通りかかったら、4・5年生くらいの女の子が一人、横断歩道で待っていたので車を停めたら、渡り終えてから「ありがとうございます」と深々とお辞儀をしてくれたということで、止まってくださった方がとてもうれしい気持ちになったそうです。

最近、本当に多くの方から、こういった子供たちのお礼の挨拶のすばらしさについてのお電話、お話をいただいております。子供たちの成長をうれしく思いますとともに、地域の方からのこういったお褒めのお電話に感謝の気持ちでいっぱいです。

こういったお褒めの言葉がまた一つ、子供たちを成長させます。また、私たち教職員が子供たちを称賛することができます。最高の挨拶のできる深小っ子がどんどん増えていくことを実感しています。



(深谷小HP)



【11月27日】『逆上がり教室』

本日、業間休みに、逆上がり教室を開きました。今日の練習にも、教員だけでなく運動委員会の子供たちが 逆上がりのできていない子に、優しく丁寧に教えてくれていました。そんな中で、「やったあ！ できたあ！」と拍手が起きました。初めてできた子が何人も出ました。おめでとう！

今年度も逆上がり教室を実施してよかったなあと思っています。これまで逆上がりできていなかった子が、この教室で何人もできるようになっています。逆上がりも努力を続けると、きっとできるようになるものです。まだ、できない子もあきらめないで、毎日練習を続けてもらいたいと思います。



【11月28日】『本日の「がんばルーム」』

地域の先生のご指導の下、子供たちが静かに真剣にドリルや宿題、自主学習を頑張っていました。1年生も自分のやることが分かり、どんどん勉強を進めていました。もう、すっかり学習する姿勢が身に付いています。素晴らしいです。2年生以上の子供たちも、他の子供たちもみんな一生懸命勉強しているので、どんどん自分の勉強を進めています。

がんばルームの先生方のおかげで、勉強するのにとっても素晴らしい環境となっています。ありがたいです。感謝申し上げます。



【11月30日】『バスケットゴールのボード修理 ～ 警察にも伝えました ～』

11月22日から23日の休みの日に、本校のバスケットコートで遊んでいた人がいわゆる『ダンクシュート』のようなことをしていたそうです。そのために、ゴールのボードが動いてしまっていました。

昨日11月29日に、業者の方に来ていただいて、危険のないように直していただきました。

学校としては、大変困ります。バスケットゴールは、『ダンクシュート』をするようにできていません。『ダンクシュート』をした方がけがをされてもいけませんし、それを直すのにも貴重なお金が必要になります。

深谷警察にも連絡し、巡回をお願いしました。悲しいできごとでした。



【12月 8日】『ふっかチューブ ～11月2日の修学旅行～』

お待たせしました。昨日、11月2日に実施した6年生の修学旅行についての『ふっかチューブ』を発信しました。昨日8日17時6分のメールに添付して送信しました。

今回は、担当者がいつも以上に頑張り、動画になっています。もう、ご覧になりましたか？

まだの方は、ぜひ、ご覧ください。



【12月9日】『アスレチックの使用 ～しばらく使用禁止にします～』

本校には、とっても素晴らしいアスレチックがあります。子供たちは、アスレチックで遊ぶのが大好きです。朝から、休み時間ごとに楽しそうに遊んでいました。

しかし、ここのところ、落下したり、挟まったりと、いろいろな事故が起ってしまっています。教育委員会からの業者の点検で、危険なところは、これまでも使用しないようになっていました。しかし、それ以外のところも、危険がいっぱいあります。

そこで、しばらく、使用を禁止することにしました。子供たちの命が一番ですので、今後、アスレチックの安全な使い方をはじめ、アスレチックをどのようにしたらけがが防げるのか等を十分検討していきたいと思います。

「多少のけがは大切」という考えもあると思いますが、今のアスレチックは、大けがにつながり、死にもつながってしまいそうです。市教委の指導をいただきながら、考えていきたいと思っています。

【12月9日】『1年生と6年生の「焼きいも会」～素敵な思い出ができました～』

本日、2・3校時に校庭で、1年生と6年生の交流会『焼きいも会』を実施しました。今年は、毎年4月に行っていた『1年生を迎える会』を実施することができず、1年生と6年生の交流もこれまでずっと控えてきました。

しかし、今回、6年生が育ててきた さつまいもと、6年生が集めてくれた落ち葉を使って、『焼きいもの会』を実施することになりました。

着火の場面をみんなで見て、その後、6年生が1年生の面倒を見ながら焼きいもの準備を行いました。そして、いよいよ、さつまいもの投入。その後、さつまいもが焼けるまで班ごとに6年生が1年生をリードしてレクをしました。1年生も6年生も、とっても楽しそうでした。全員が集まって大きな円をつくり、誕生日ごとに中央に出ていくときも、6年生が1年生の手を引いていました。ここでも、感染症対策で、消毒をこまめにしながら楽しみました。

そして、いよいよ焼きいもをとって、食べる時がやってきました。アルミホイルをはがしてやきいもを口に入れたとたん、子供たちは笑顔いっぱいになりました。「おいしい！」「最高！」という声があちこちからあふれていました。

新型コロナウイルス感染症のために、様々な制限がある中ですが、本日は、1年生と6年生の子供たちにとって、最高の一日になったようです。

ご近所の方々には、煙、におい等で大変ご迷惑をおかけして、申し訳ございませんでした。お詫びいたします。

【12月16日】『ふるさと 深谷 渋沢学～ネギの収穫～ ～篠崎元校長先生にお世話になって～』

本日、3年生がこれまでずっと世話をしてきた『ネギ』の収穫を行いました。

今日も、ずっとお世話になっている深谷小学校の元校長である篠崎先生が来てくださり、指導をしてくださいました。

篠崎先生がご自宅の畑でつくったネギも持ってきてくださりました。その太さにびっくり。子供たちも一生懸命世話をしてきたのですが、篠崎先生の畑でとれたネギと比べると太さが違いました。

それでも、子供たちが自分たちで一生懸命育てたネギも大切そうに収穫していました。子供たち自身でネギを4本ずつ抜き、篠崎先生からいただいた1本の太いネギとあわせて5本を新聞紙にくるみ、自宅に持って帰ります。

できれば、今日か明日、このネギを使った料理を家庭でしていただけると幸いです。また、その感想をお子さんに話していただけると、さらにうれしいです。よろしく願いいたします。

篠崎元校長先生には、これまで何回も深谷小に足をお運びいただき、たくさんのことを教えていただきました。また、実際にねぎの世話をしてくださいました。子供たちは、深谷ネギについて、たくさんのことを学ぶことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。大変お世話になりました。

